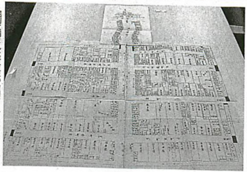
新吉原繪図」描き残す

都新聞記者・瀧川庄三郎

いた都新聞
庄三郎（大
、五十九
に当たる神
市雪ノ下の
川紅風さん
蔵の中から
紅風さんは
警察と賭場
り、吉原
った逸話
いう社会
武士でま
した元服
人で進取
うだ」と
ら周囲を
とぶ）に
世界。こ
の娼妓や
と八千人
らしてい
こと、酔
から繰り込み、華やかな不夜城で娼妓とはかない一夜を過ごしたのだ。

繪図は「明治二十二年春、瀧川調」とあり和紙五枚に墨書き。京町、江戸町、揚屋町に角町、伏見町の五町と全妓楼名、そのほかウナギに酒、たばこ、そばに菓子、すし、荒物、人力車、医師、理髪や豆腐、米や煮豆、ロウソク、弁当、足袋に絵草紙など生活に必要な店名が百七十二店も描き込まれている。



掘割に囲まれた新吉原の繪図。5町、大小妓楼のほか170以上の商店、飲食店が描かれ、郭内の暮らしがうかがえる資料だ（瀧川紅風氏所蔵）

町内商店詳細に 当時を知る貴重な資料

さらに西洋料理や洋酒屋、写真館があり、妓楼も洋館建てが増えて洋風文化が吉原にいち早く広がっていたことがわかった。

繪図が作られた明治二十二年は、本紙の起源「今日新聞」が「みやこ新聞」を経て「都新聞」に衣替えした歴史的な年。この時「花柳界や文化芸能の報道で他紙を圧する」と宣言しており、その取材資料として庄三郎が郭内を探訪して作ったものと思われる。

近世文学や遊里史に詳しい渡辺憲司・立教大学名誉教授は「細見図は明治十年や二十七年にもあるが主に妓楼中心の図。百七十二店もの商店や飲食店などあらゆる業種の店名が描かれているのは珍しく、町の様子が見えるようだ。隔絶された世界での日々の暮らしや生活がうかがい知れて興味深い資料」と話している。

繪図を描いた瀧川庄三郎。粋人だったという。後に都新聞記者に（明治4年、銀座の写真館で撮影）

困惑

識ない」

をどうするかは、国が考えるテーマ。一社がどうこうする問題ではないのだが…」。

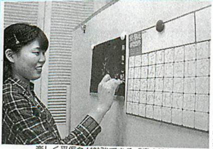
川勝知事は一月初め、専門家の亀井敬史・立命館大衣笠総合研究機構研究員からじかに説明を受け、トリウムの魅力にひかれたようだ。中電側の意向に構わず、知事は「原発の従業員がやる気を失わず、励みになる環境を整えたい」と、トリウム原発の研究拠点にする構想をあちこちで披露している。

トリウム原発は、米国や中国などが二〇三〇年ごろの実用化を目指し、研究に取り組んでいるが、国内でほとんど研究されていない。亀井研究員は、本紙の取材に「トリウムはウランよりも危険性が少ない。研究開発の動向を見極めながら、発電手段の一つとして検討すべきだ」と指摘している。

親子楽しく「字」覚える

和光大生と川崎の企業 産学連携

未就学児向け教材商品化へ



楽しく平仮名が勉強できる「書き消しポン」＝東京都町田市の和光大学で

文具・雑貨メーカー「ブランドゥーアイ」（川崎市高津区）と和光大学（東京都町田市）経済経営学部の学生が、親子で遊びながら字を覚える未就学児向け知育教材「書き消しポン」の開発を進めている。三月には完成し、限定百個を販売する予定だという。

何回も書いたり消したりできるライティングシートと、平仮名の表を組み合わせた教材。A3サイズの平仮名表二枚と、B5サイズの黒板型シート、日本理化学工業（高津区）の開発した固形マーカー「キットパス」三色が一セット。

昨年八月、川崎起業家オーディションで、かわさき起業家賞を受賞した「ブランドゥーアイ」の稲葉雅人社長（四七）が、基調講演した和光大の小林猛久准教授（四七）と知り合ったのがきっかけ。小林准教授のゼミ生十二人が、同社の販売するライティングシートに付加価値を付ける企画に乗り出した。

ゼミ生たちは幼児と接したり、心理学、保育学の本で学ぶうち、お茶の水女子大学の内田伸子元教授の「共有型しつけスタイル」の論文にたどり着き、「親子で楽しい時間を共有しながらしつけをされた子どもは語彙力が高い」という内容を軸に教材の使い方を模索した。

教材には、ゼミ生が考えた対象年齢別使い方ガイドブックを付け、ゼミ生が考えた絵描き歌や使い方の実演を動画投稿サイト「ユーチューブ」で流す予定。

「ほかの製品と差別化できると思う」と二年生の平栗僚子さん（二〇）。ゼミの報告会では、小林准教授の厳しい指摘が飛ぶが、稲葉社長は「よく調べて頑張っている」と目を細める。「産学連携がなければ生まれない商品。全国展開していければ」と話していた。

（平木友見子）

知っている？ 知りたい

写真の入賞作品きょうから展示

静岡・県立美術館

「ふるさと富士」

二月二十三日の「富士山の日」に合わせ、静岡県は「ふるさと富士」の写真の入賞作品を展示する「秀景ふるさと富士写真展」を十八～二十六日、静岡市駿河区の県立美術館で開催する。入場無料。

全国から三百四十四点の応募があり、山岳写真家の白籏史朗さんらが審査。問い合わせは県文化・観光部総務企画課＝電054（221）3375＝へ。

コトバ 言葉

秋入学

先日、東京大学の懇談会が秋入学について中間報告を発表しました。一般的に新卒の就職は四月であることなど、現状に即していないことをどう解決していくかは別にして、秋入学では入学式は残暑の中で行われることも考えられ、今までの入学式のシーンとは別物の光景が繰り広げられることになります。

桜の開花が五月になる地方もありますが、日本人は卒業と入学、そして別れと出会いを、春という季節や桜に仮託してきました。この心情はコブクロの「桜」などの曲にも歌われていますし、テレビ、映画などでも象徴的に桜を使うことで分かります。秋入学は「春」や「桜」という言葉のイメージを変えてしまうのです。また、全面的に秋入学が行われるようになると、「早生まれ」「夏休み」など、いろいろな言葉に影響を及ぼすことが考えられます。

言葉が時代によって変わるのは仕方ありません。ただ、人の手によって変えるのなら、こうした心情を理解した上であってほしいと思います。

（佐藤京次）

警

【本部等】
（警察庁）同
理一課長代理
理一課課長代
平井克昌▽同
方面交通機動
隊▽警務部監
特捜隊副隊長
一課調査担当
一彦▽人事二
（九機動隊副
▽厚生課長代
方面本部管理
生課調査担当
事務局派遣
長）新井高司
導担当（二方
小倉忠志▽同
派遣（万世橋
川俊之▽同課
署交通課長）
（交通情報サ
田信一▽同（
社）甘楽省吾
代理・交通捜
査課長代理・
事件捜査（高
野信一▽交通
長（交通総務
笠原澄夫
放置駐車対策
（交通総務課
遣）福島稔▽
隊長（本富士
田哲也▽十方面
察庁）岩佐政
（首都高速道路
也▽警備一課長
報（八方面本部
利章▽同課調査
同）大川一弥▽
片田佳弘▽総理
隊長（四方面本
島正恒▽八機動
宿署警備課長）
地域指導課長代
（地域指導課
導）大谷弘▽同
（警察庁）小松
指令本部指令計
指令本部調査担
▽同本部第三指
森本直樹▽同本
（警察庁）秋山
（同）藤原靖浩
車警ら隊副隊長
組対課長）長島
副隊長（荏原署
谷明宏▽公安総
（外事三課長代
▽同（警察庁）北
安総務課指導担
課長代理）田浦
査担当（八機動隊
橋良則▽公安一
安一課調査担当
同課調査担当（
実▽公安二課同
公安四課長代理
英典▽外事一
（同）栄倉秀徳▽
代理（公安総務
前徹▽外事三課
橋本和彦▽刑事総
当（北沢署刑事組
山光男▽同課調査
総務課指導担当）
▽同（浅草署刑事
勝▽刑事部管理官
当（一機捜隊副隊
雄▽捜査一課長代
犯捜査（捜査二課
知能犯捜査（麹町
課長）中元優二▽
（警察庁）石原
析センター所長
河野栄一▽捜査三
一盗犯捜査（捜査
・三盗犯捜査）富
・三盗犯捜査（同
当）富田昇▽同課
（刑事総務課同